生徒の皆さんは読んだ後に保護者の方へお渡ししましょう。

進路だより

県立向の岡工業高等学校 定時制総合学科
学習支援グループ 令和２年 10 月 23 日発行（第 173 号）

Classroom でも配信しています。

【全年次】

「学校行事」を休まないようにしよう！

推薦による進学、就職活動、奨学金申請等に影響が出る恐れがあります

「学校行事は授業ではないので出席しない」「出席しても意味がない」。そのような考えを持っている生徒が残念ながらいるようです。

積極的に登校している生徒の皆さんには関係のない話題ですが、該当する生徒の皆さんにとっては、どのような問題点があるのか考えてみましょう。

（１）欠席が増える

学校行事の日に休んだ場合、授業の欠時は増えませんが、学校の欠席日数が増えます。進学先の学校や就職先の企業の考え方によって差はありますが、休まないほうが進路の選択肢が増えることにつながります。就職活動等で「通常では説明がつかないほど欠席が多い」との理由で不採用となったと思われるケースもありました。

増えた欠席日数はリセットすることはできません。今すぐ、誤った考えによって無駄に休むことをやめましょう。

（２）面接で何も話ができない

「文化祭でどのような企画を立案したのか」「生徒会・委員会・部活動・ボランティア活動・インターンシップ等」を通じてどのような体験をしたのか」そのような質問を面接で受けることがあります。

当然ですが、ほとんど学校行事に参加していない生徒は話をすることができません。例えウソをついても、たくさんの高校生を面接している人事の採用担当者や進学先の面接官にそのウソは見抜かれます。

（３）奨学金

奨学金の申請時に、在学中の欠席日数を報告する場合があります。お休みが多いことによって、必要な奨学金が得られない可能性も高くなります。

（４）経験不足

仕事の多くはチームで行います。つまり、「コミュニケーション能力」や「協調性」などが求められている訳です。気の合った仲間同士だけではなく、「クラス全体」、「委員会」、「行事担当者」で偶然一緒になった生徒と力を合わせて活動することにより、今後、みなさんの就職先で役に立つ経験につながることもあります。

特に、臨機応変な対応が求められる職業や企画立案に携わるような職業の場合、授業やアルバイトでは経験できないことを学校行事で学んでほしいと考えています。例えば「文化祭がつまらない」と思う人がいるのならば「面白くするためにはどうするのか」「盛り上げるためにはどうするのか」と考えられるような人材を社会は求めています。

（５）向友祭の「準備」「当日」にしっかりと参加しよう

近々予定されている学校行事として、向友祭（文化祭）があります。今年度は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により様々な制約がありますが、「10 月 29 日（木）、30 日（金）の向友祭準備」および「10 月 31 日(土)の向友祭当日」はしっかりと登校し、参加しましょう。

これまでに説明した内容は、あくまでも「正当な理由がない欠席はしないように」という話です。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）まん延防止と皆さんの健康のために体調が悪い場合には無理をして登校しないように皆さんには何度もお伝えしています。

発熱時や体調が悪い場合には決して無理をして登校せず、速やかに学校へ連絡してください。